

令和5年3月 発地別延べ宿泊者数割合

(単位：人泊、%)

【国内】	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和5年3月(速報値)	40,765	89,245	49,683	8,569	25,116	39,661	17,916	60,728	6,107	337,790
令和4年3月(速報値)	50,543	91,974	38,461	5,618	19,825	31,002	15,055	53,871	4,562	310,911
前年同月比	80.7	97.0	129.2	152.5	126.7	127.9	119.0	112.7	133.9	108.6
2019年3月(確報値)	57,067	97,642	59,696	11,203	32,394	39,518	20,078	54,386	7,830	379,814
2019年同月比	71.4	91.4	83.2	76.5	77.5	100.4	89.2	111.7	78.0	88.9
令和5年2月(速報値)	38,497	66,417	35,897	5,254	14,221	26,917	11,525	54,025	4,776	257,529
前月比	105.9	134.4	138.4	163.1	176.6	147.3	155.5	112.4	127.9	131.2

【国外】	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和5年3月(速報値)	29,403	827	3,702	4,622	3,670	2,367	2,635	47,226
令和4年3月(速報値)	246	25	3	0	12	401	409	1,096
前年同月比	11952.4	3308.0	123400.0	—	30583.3	590.3	644.3	4308.9
2019年3月(確報値)	52,432	7,186	5,918	14,202	2,412	2,722	2,387	87,259
2019年同月比	56.1	11.5	62.6	32.5	152.2	87.0	110.4	54.1
令和5年2月(速報値)	37,336	831	3,882	5,445	2,476	886	1,017	51,873
前月比	78.8	99.5	95.4	84.9	148.2	267.2	259.1	91.0

【全体】	合計
令和5年3月(速報値)	385,016
令和4年3月(速報値)	312,007
前年同月比	123.4
2019年3月(確報値)	467,073
2019年同月比	82.4
令和5年2月(速報値)	309,402
前月比	124.4

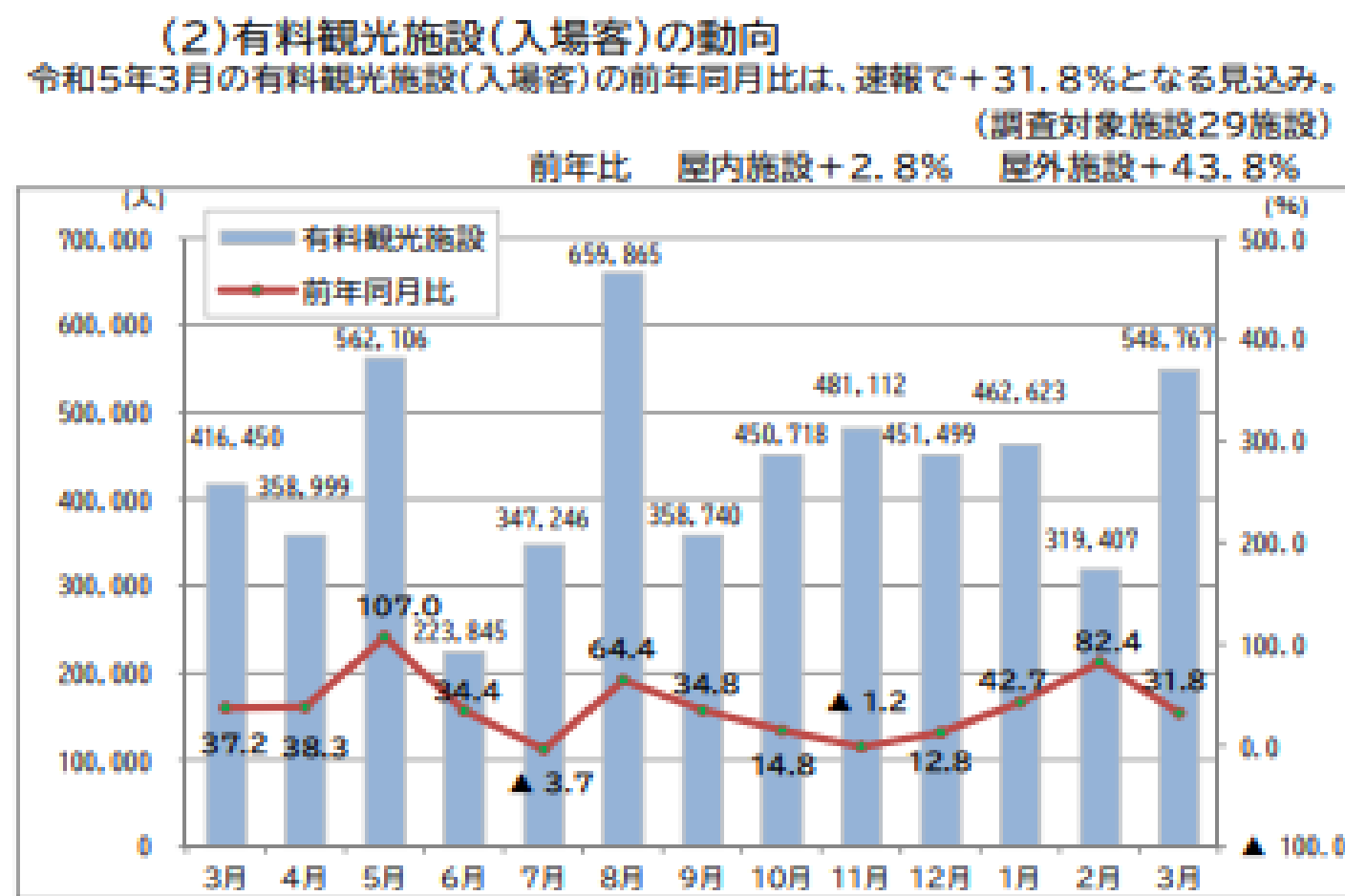
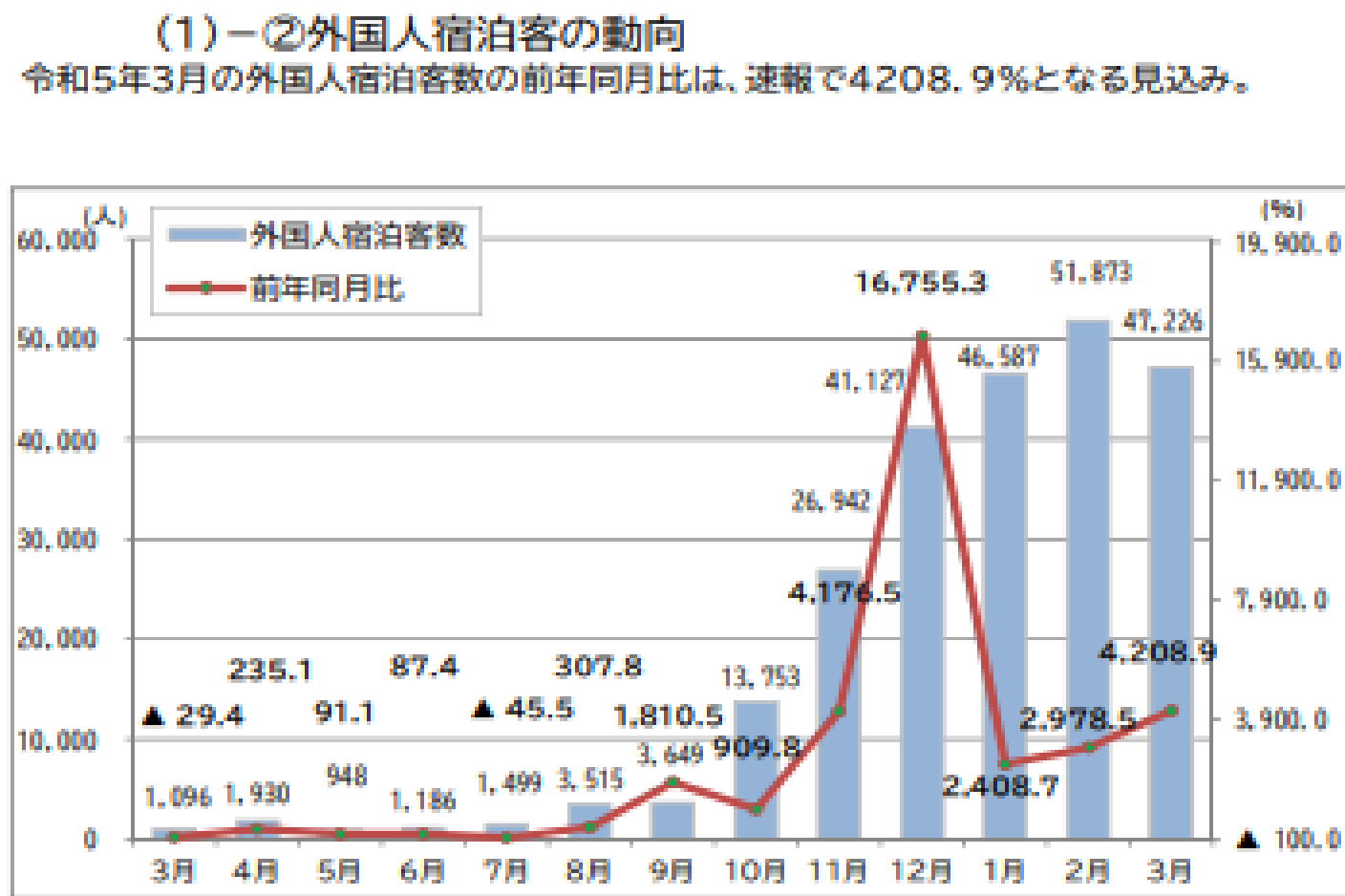
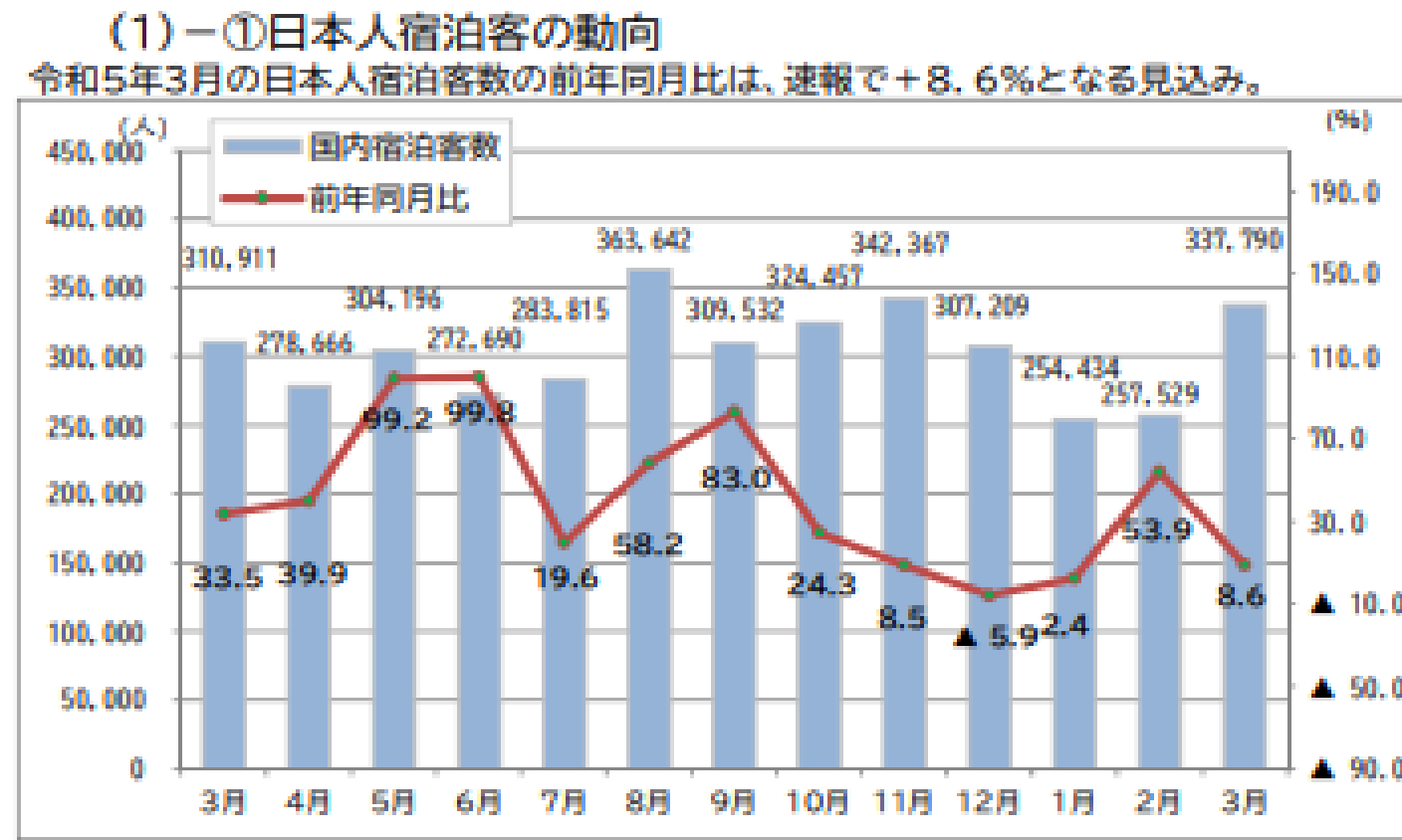
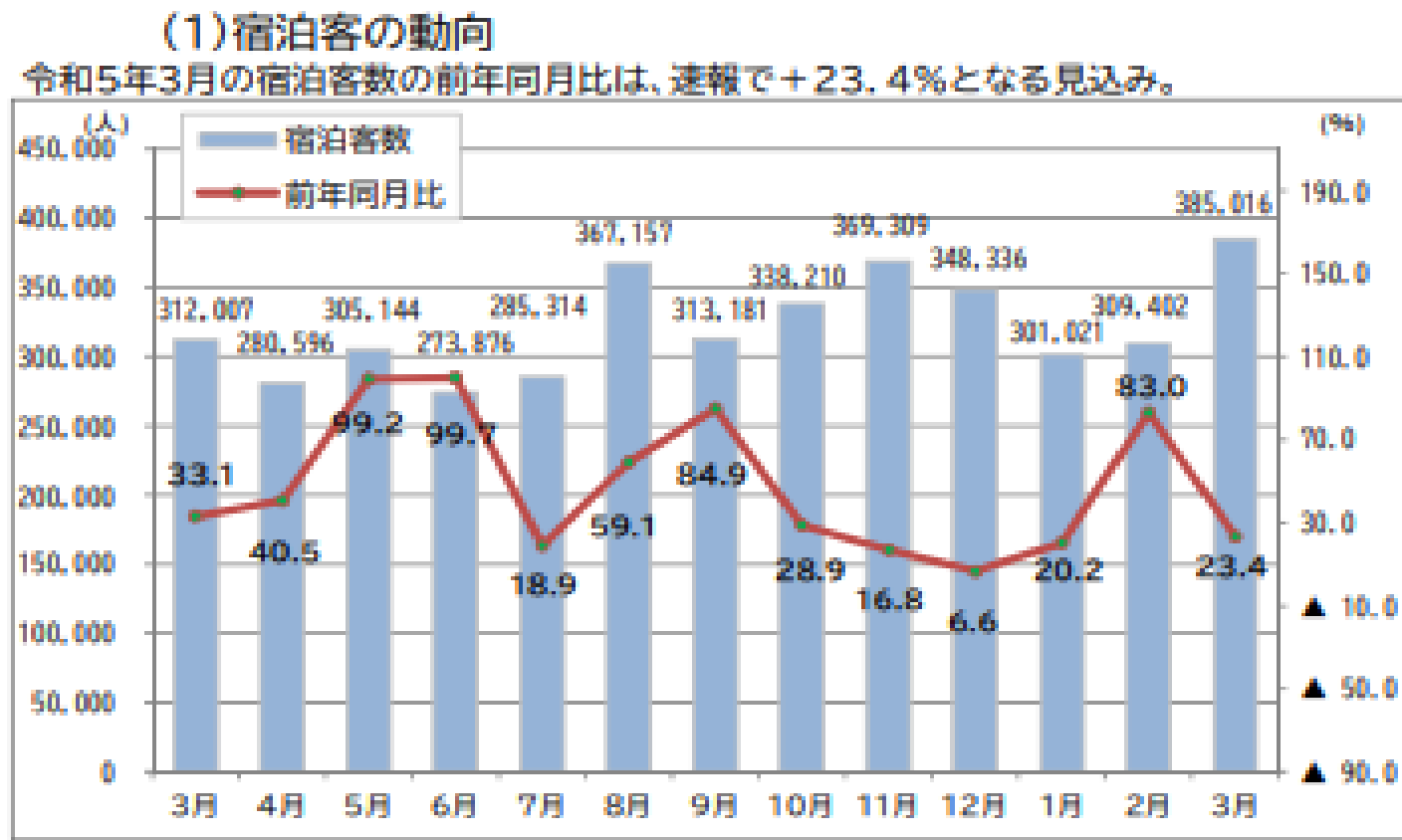
- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(189施設 令和5年1月時点)
- ②2019年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は、前月比131.2%、前年同月比108.6%、コロナ禍前の2019年同月比は88.9%。春休みシーズンでの需要や、全国旅行支援などの影響から前月比、前年比共に特に九州外からの伸びが大きく、関東や近畿はコロナ禍前の2019年と比べても増加となった。
- ・国外の延べ宿泊者数は、令和4年10月11日より入国者数の上限撤廃など水際対策が大幅に緩和されてからは右肩上がりで増加していたものの、3月は韓国を中心に減少し、前月比91.0%となった。一方、タイや欧米豪からの宿泊者数はコロナ禍前の2019年と比べても増加しており、2019年同月比は54.1%となった。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比124.4%、前年同月比123.4%、コロナ禍前の2019年同月比は82.4%となっている。

令和5年3月の宿泊客等の動向
(令和4年3月～12月速報、令和5年3月速報)



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

＜傾向・分析＞

- ・日本人宿泊客は、昨年3月に全国で蔓延防止等重点措置が解除となつてからは新型コロナウイルスによる行動制限等もなかつたことなどから大きな減少はなく推移している。
令和5年3月は、春休みや卒業旅行シーズンであり全国を対象とした旅行支援も実施していることなどから九州外からの宿泊者を中心に増加傾向となつた。
- ・外国人宿泊客は、6月10日より観光目的の入国が条件付きで解除された後徐々に戻りが見られ、10月には入国者数上限撤廃など更に水際対策が緩和されたことにより右肩上がりで推移していたものの、3月は微減となつた。
- ・全体においては、入国制限の緩和や旅行支援の影響などからインバウンドを含め徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつあり、令和5年3月は国内客・外国人客の合計としてはここ一年で最大となつた。